

令和7年度

徳島市加茂名中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

創造性に富み、自ら主体的に学ぼうとする生徒を育成するための
環境づくりと授業づくり

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員

委員

校長 岩根 正明 教頭 竹内 宏子 久米 輝 教務主任 神戸 学
1学年主任 阿部 佳世 2学年主任 山本 昌 3学年主任 板東 真也 特別支援CD 戸村 由絵
研修主任 近藤 毅 学力向上担当 赤澤 文香 学力向上推進員 鈴木 彩加

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や、教員からの報告等、さまざまな機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各教科、基礎的・基本的な知識を問うような課題に対しては、意欲的に取り組む生徒が多い。 ●自分のもっている知識を関連付けて考えたり、文章の内容を正確に読み取ったりすることに課題がある。	・授業の振り返りや家庭学習を通して、基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・自らが習得した知識・技能を正しく認識し、他の学習や課題に取り組む際に複数の知識を関連づけたり、活用したりすることができる。	・授業規律を徹底する。 ・ユニバーサルデザインを意識した授業設計で「分かる授業」を展開する。 ・日々の授業の中に基礎的・基本的な知識を定着させるための取組を取り入れる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題について、自分の意見を表現しようとするができる。 ●自分の考えを根拠を示しながら書く問題、特に自由記述の問題に対しては難しいと感じて書くことを諦めてしまう生徒が多い。	・身につけた基礎的な学習内容を生かし、他者の意見を踏まえながら、自らの考えを相手に伝えるように表現することができる。 ・読書に興味・関心を持ち、様々な文章を積極的に読むことができる。	・各教科で他者と意見を交換したり、共有したりする機会を積極的に取り入れる。 ・生徒たちに「徳島県版読解力」を構成する5つの力をつけるための活動モデルを各教科で取り入れ、生徒の考えを深めさせる。 ・図書館教育と連携したり、読み聞かせや阿波っこタイムズを活用したりすることで、読書活動に親しませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習内容について、理解したいという意欲をもち、分からない部分があれば質問できる生徒もいる。 ●家庭学習の習慣が定着しておらず、自らの課題の解決に向けて計画を立てて学習に取り組むことが難しい生徒が多い。	・様々な学習課題について目標を経て、見通しをもって目標達成に向けて粘り強く努力することができる。 ・自分の苦手な課題について、学習方法を工夫しながら主体的に家庭学習に取り組むことができる。	・目標管理シートを配付し、学習に対する意識を高めさせるとともに、見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ・ノーメディアデーを月1回実施し、メディアの活用方法について考えさせる。 ・学期に1度、家庭学習強化週間を設け、家庭学習の質の向上を図る。			

令和7年度 学力向上ロードマップ

